

<平成26年3月期決算参考資料>(連結)

	前期実績 平成25年3月期	当期実績 平成26年3月期 平成26年2月予想	次期予想 平成27年3月期
売上高	18,151 億円	20,934 億円 21,100	23,000 億円
営業利益	674 億円	1,234 億円 1,200	1,350 億円
<利益率>	< 3.7% >	< 5.9% >	< 5.9% >
		(増益要因) 為替 659億円 資材費等コスト低減 404億円 (減益要因) 販売費用 ▲303億円 台数・車種構成等 ▲48億円 その他 ▲152億円 対前年 変動計 560億円	(増益要因) 台数・車種構成等 310億円 資材費等コスト低減 180億円 (減益要因) 為替 ▲130億円 販売費用 ▲70億円 その他 ▲174億円 対前年 変動計 116億円
経常利益	939 億円	1,295 億円 1,200	1,380 億円
<利益率>	< 5.2% >	< 6.2% >	< 6.0% >
当期純利益	380 億円	1,047 億円 1,000	1,100 億円
<利益率>	< 2.1% >	< 5.0% >	< 4.8% >
為替 (売上レート)	82 円/US\$ 105 円/¥-□	100 円/US\$ 134 円/¥-□	100 円/US\$程度 138 円/¥-□程度
設備投資 (計上ベース)	514 億円	722 億円	900 億円
減価償却費	503 億円	527 億円	580 億円
研究開発費	599 億円	675 億円	720 億円
有利子負債残高	3,644 億円	2,224 億円	
総資産	14,528 億円	15,439 億円	
売上台数	1,120 千台	1,257 千台	1,402 千台
国内	176 千台	313 千台	321 千台
海外	944 千台	944 千台	1,081 千台
生産台数	1,122 千台	1,269 千台	
業績評価		増収・増益	

<平成26年3月期決算参考資料> (単独)

	前期実績 平成25年3月期	当期実績 平成26年3月期
売上高	13,834 億円	16,716 億円
国内	2,487 億円	4,016 億円
輸出	11,347 億円	12,700 億円
営業利益	148 億円	567 億円
<利益率>	<1.1%>	<3.4%>
		(増益要因) 為替 616億円 資材費等コスト低減 178億円 台数・車種構成等 23億円 (減益要因) 販売費用 ▲182億円 その他(開発費他) ▲216億円 対前年 変動計 419億円
経常利益	753 億円	1,028 億円
<利益率>	<5.4%>	<6.1%>
当期利益	387 億円	936 億円
<利益率>	<2.8%>	<5.6%>
設備投資 (計上ベース)	316 億円	371 億円
減価償却費	341 億円	328 億円
研究開発費	559 億円	687 億円
有利子負債残高	2,239 億円	701 億円
売上台数	773 千台	951 千台
国内	176 千台	313 千台
海外	597 千台	638 千台
業績評価		増収・増益

三菱自動車、2013年度決算及び2014年度通期業績見通しを発表

三菱自動車は本日、2013年度(2014年3月期)決算及び2014年度通期の業績見通しを発表しました。

1. 2013年度決算

(1) 業績概況

2013年度(2013年4月1日～2014年3月31日)の売上高は、前年度比2,783億円(15%)増の2兆934億円となりました。

営業利益は、販売費や研究開発費の増加があった一方、為替の好転や資材費等コスト低減の寄与もあり、前年度比560億円(83%)増の1,234億円となりました。

経常利益は前年度比356億円(38%)増の1,295億円、また当期純利益については、前年度比667億円(176%)増の1,047億円となりました。

(2) 販売台数

2013年度の販売台数は、前年度比60千台(6%)増の1,047千台となりました。

日本では、登録車の販売は前年を下回った一方、軽自動車は昨年6月より販売を開始した新型『eKワゴン』『eKカスタム』に加え、今年2月に発売した『eKスペース』が好調に推移しており、前年度比9千台(7%)増の143千台となりました。

北米は、新型『アウトランダー』や新型『ミラージュ』の新車効果により、前年度比12千台(14%)増の97千台となりました。

欧州は、『アウトランダーPHEV』などの新車効果により、前年度比21千台(11%)増の202千台となりました。

アジアは、タイで2012年12月にファーストカーバイヤープログラムが終了したことによる反動や、政情混乱による需要の低迷などにより、販売台数は減少しました。一方、广汽三菱を中心に中国が大きく伸長したことに加え、フィリピン・インドネシアでは過去最高の販売台数を記録し、アジア全体の落ち込みを最小限に抑えた結果、地域全体では、前年度比13千台(4%)減の344千台となりました。

その他地域については、豪州・ニュージーランド、中南米、中東アフリカ地域ともに前年度を上回り、地域全体で、前年度比31千台(14%)増の261千台となりました。

2. 2014年度業績見通し

2014年度(2014年4月1日～2015年3月31日)の業績見通しは、以下のとおりです。

(1) 業績見通し

- 売上高: 2兆3,000億円、前年度比2,066億円(10%)増
- 営業利益: 1,350億円、前年度比116億円(9%)増
- 経常利益: 1,380億円、前年度比85億円(7%)増
- 当期利益: 1,100億円、前年度比53億円(5%)増

(2) 販売台数計画

1,182 千台、前年度比 135 千台(13%)増

(地域別内訳)

- 日本：147 千台、前年度比 4 千台(3%)増
- 北米：109 千台、前年度比 12 千台(13%)増
- 欧州：225 千台、前年度比 23 千台(11%)増
- アジア：431 千台、前年度比 87 千台(25%)増
- その他地域：270 千台、前年度比 9 千台(3%)増

以 上

【お問い合わせ先】

広報部 メディアリレーショングループ担当：山西、稲田

代表 03-6852-4274・4276

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。



2013年度 決算説明会

三菱自動車工業株式会社
2014年4月24日



2013年度 実績



営業利益・経常利益・当期利益 全てにおいて過去最高

(単位: 億円)

	FY12 ('12/4-'13/3)	FY13 ('13/4-'14/3)	増減		前回予想 (2/5公表)	増減	
	実績	実績	差異	率		差異	率
売上高	18,151	20,934	+2,783	+15%	21,100	-166	-1%
営業利益 (利益率)	674 (3.7%)	1,234 (5.9%)	+560	+83%	1,200 (5.7%)	+34	+3%
経常利益 (利益率)	939 (5.2%)	1,295 (6.2%)	+356	+38%	1,200 (5.7%)	+95	+8%
当期利益 (利益率)	380 (2.1%)	1,047 (5.0%)	+667	+176%	1,000 (4.7%)	+47	+5%

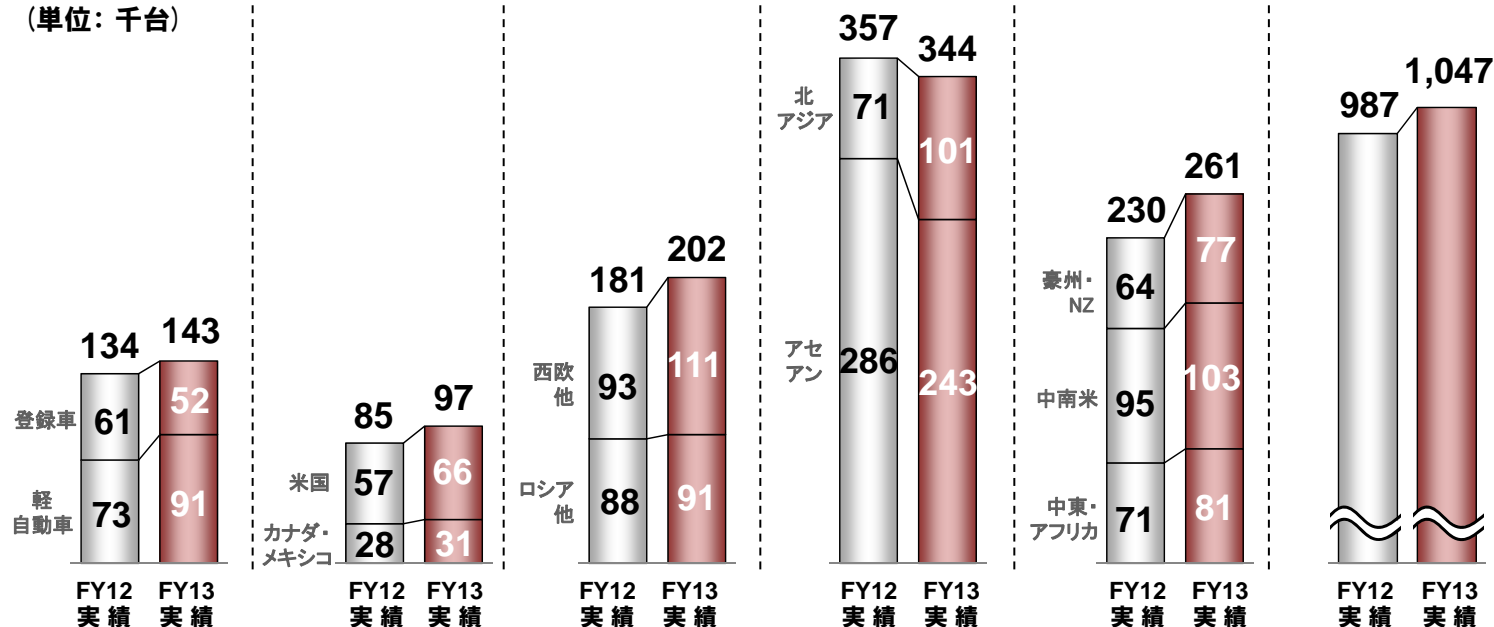
2

2013年度 小売台数実績 【前年度対比】

タイでの落ち込みを他の国・地域でカバーし、前年度を上回る

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
《前年度実績対比増減》 +9 (+7%)	+12 (+14%)	+21 (+11%)	-13 (-4%)	+31 (+14%)	+60 (+6%)

(単位: 千台)



※注) 13年度小売台数実績は速報値。

3

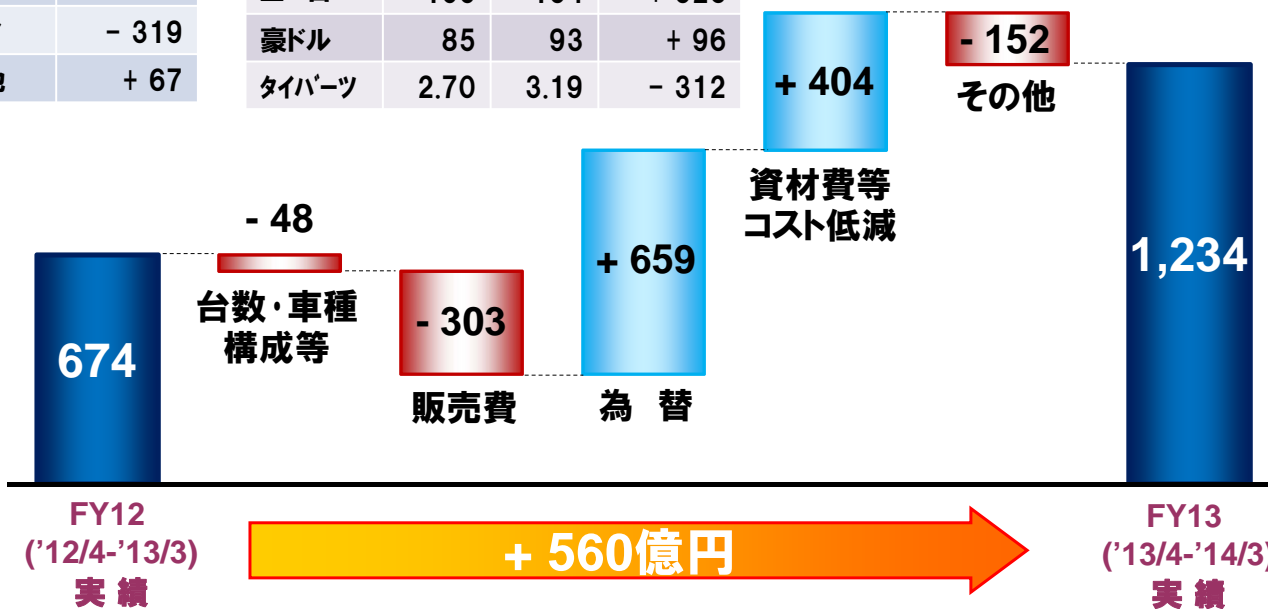
資材費等コスト低減や為替の好転が販売費の増加を上回り増益

(単位: 億円)

台数・車種構成等 地域別内訳	
日本	+ 177
北米	+ 20
欧州	+ 7
アジア	- 319
その他	+ 67

主要通貨別内訳	売上レート(円)		影響額 (億円)
	FY12	FY13	
米ドル	82	100	+ 327
ユーロ	105	134	+ 326
豪ドル	85	93	+ 96
タイバーツ	2.70	3.19	- 312

その他の主な内訳	
研究開発費	- 76
設備投資による償却費増 及び間接員労務費 他	- 76



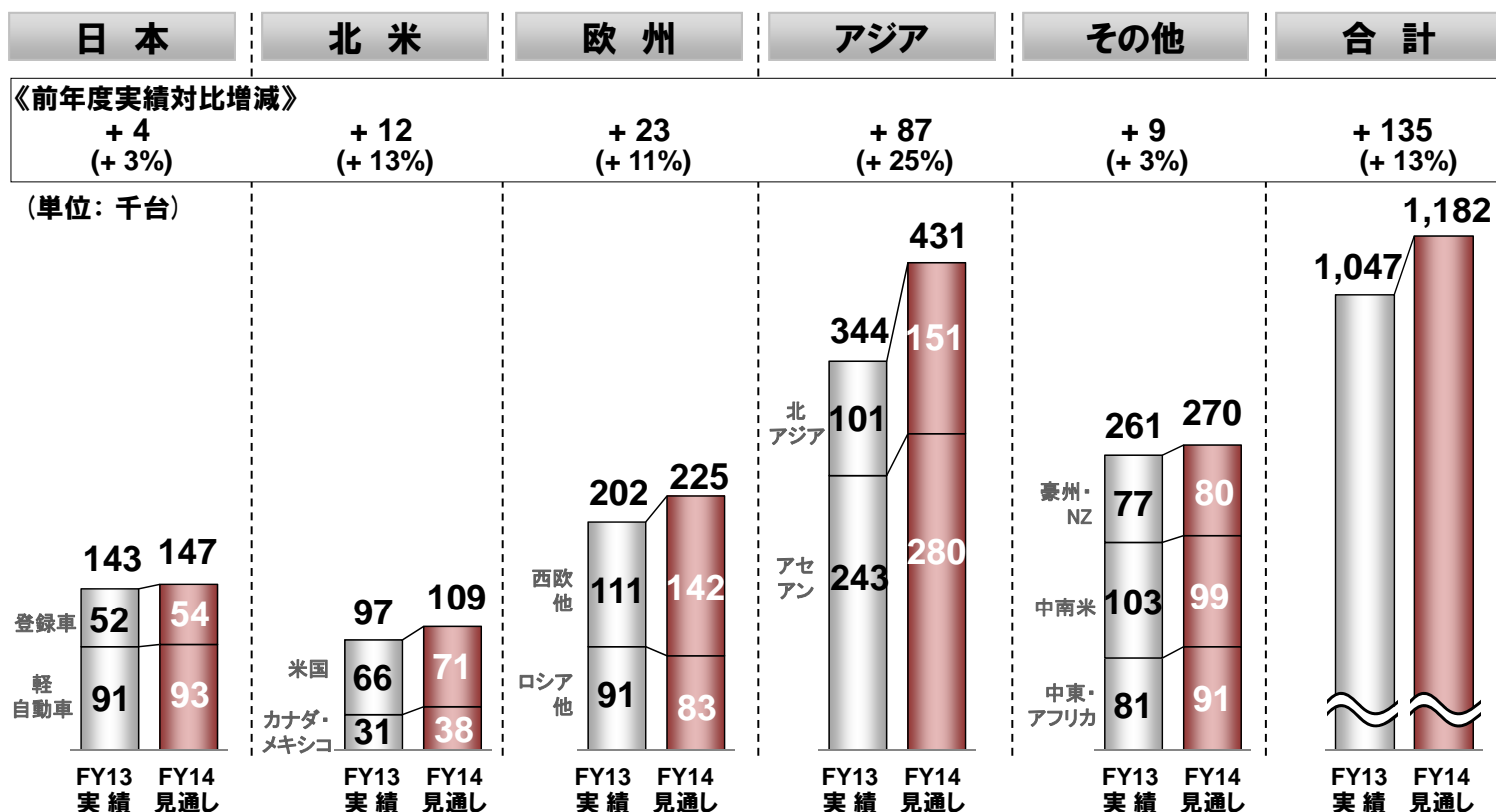
4

2014年度 見通し



5

アジアを中心に販売台数増加の計画



※注) 13年度小売台数実績は速報値。

増収・増益の計画

(単位: 億円)

	FY13 ('13/4-'14/3)	FY14 ('14/4-'15/3)	増減	
	実績	見通し	差異	率
売上高	20,934	23,000	+2,066	+10%
営業利益 (利益率)	1,234 (5.9%)	1,350 (5.9%)	+116	+9%
経常利益 (利益率)	1,295 (6.2%)	1,380 (6.0%)	+85	+7%
当期利益 (利益率)	1,047 (5.0%)	1,100 (4.8%)	+53	+5%

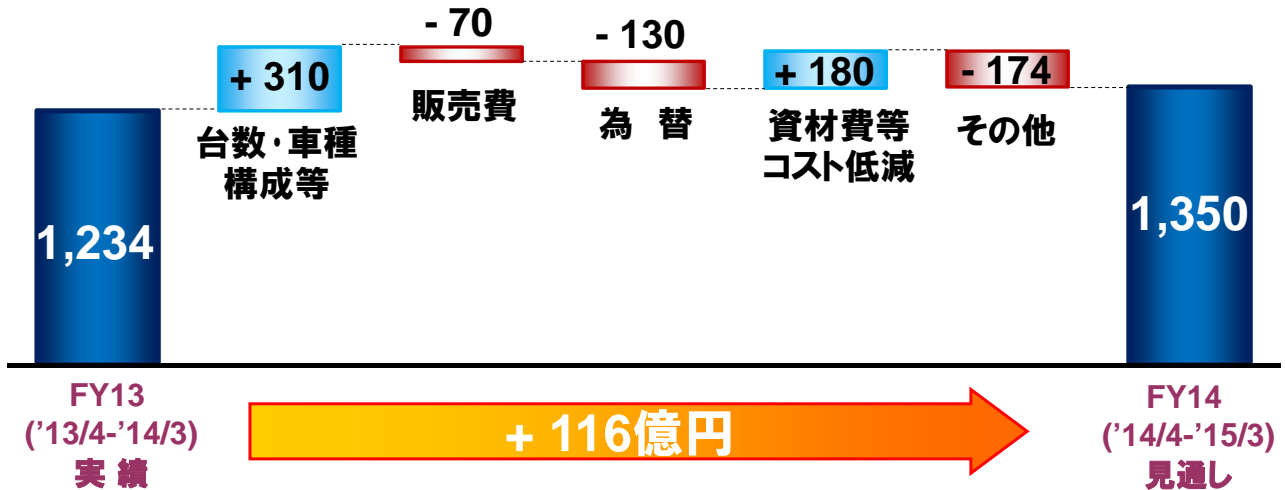
台数・車種構成改善とコスト低減等により増益を確保

(単位: 億円)

台数・車種構成等 地域別内訳	
日本	+ 60
北米	+ 5
欧州	+ 85
アジア	+ 150
その他	+ 10

主要通貨別内訳			
	売上レート(円)		影響額 (億円)
	FY13	FY14	
米ドル	100	100	0
ユーロ	134	138	+ 50
豪ドル	93	90	- 40
タイバーツ	3.19	3.28	- 40

その他の主な内訳	
間接員労務費	- 82
研究開発費 他	- 92



8

中期経営計画「ジャンプ2013」の振り返り

OUTLANDER PHEV



2013-2014
日本カー・オブ・ザ・イヤー
イノベーション部門賞受賞



2014 RJC テクノロジー オブ ザ イヤー 受賞
プラグインハイブリッドEV
@earth TECHNOLOGY



9

営業利益、経常利益、当期利益は計画達成・過去最高益を更新
16年半ぶりに復配予定

業績目標

	「ジャンプ2013」 13年度 目標値
販売台数(小売)	1,370千台
売上高	25,000億円
営業利益(利益率)	900億円(3.6%)
当期利益(利益率)	450億円(1.8%)

13年度実績	増減
1,047千台	- 323千台
20,934億円	- 4,066億円
1,234億円(5.9%)	+ 334億円
1,047億円(5.0%)	+ 597億円

資本政策

◆ 中期経営計画「ジャンプ2013(11~13年度)」の復配を目指す

- ◆ 2013年11月資本再構築プラン発表
- ◆ 2014年3月に優先株式を全量処理
- ◆ 2014年3月期配当 25円
(普通配当15円、特別配当10円)

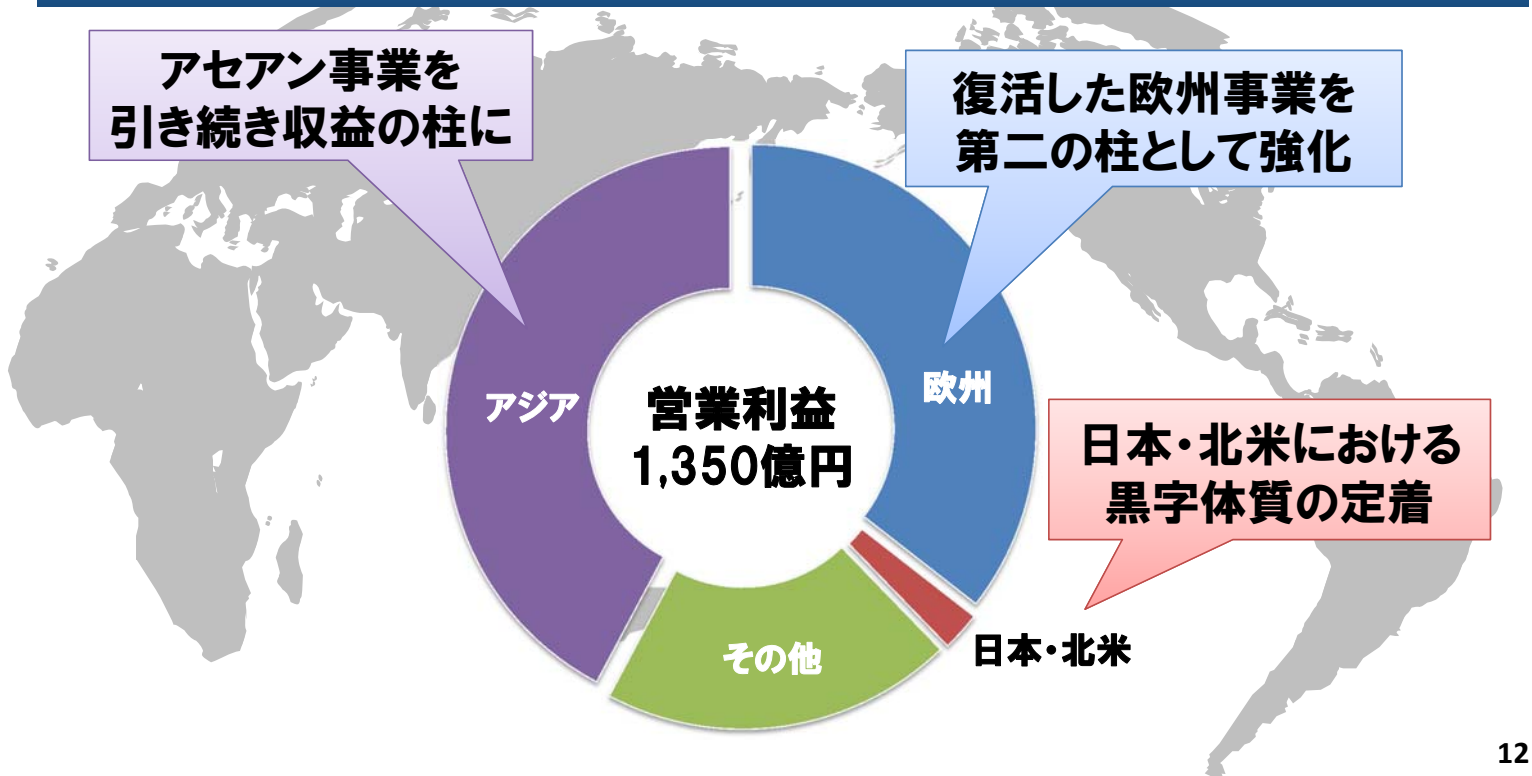
10

2014年度の取り組み



11

中期経営計画「ニューステージ2016」
最終年度の営業利益目標1,350億円の達成を2年前倒して目指す



アセアンでの取り組み(販売)

新型『トライトン』を2014年秋に投入

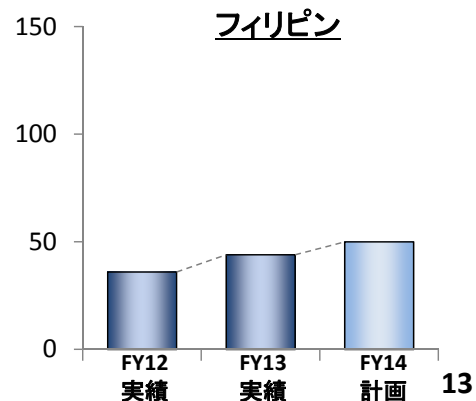
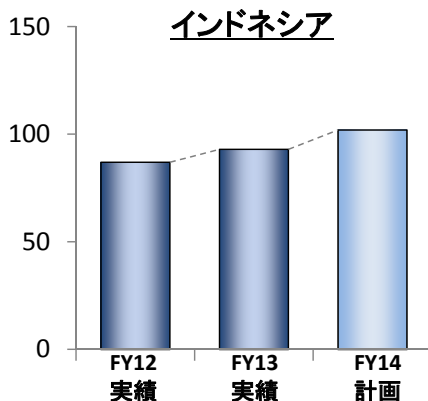
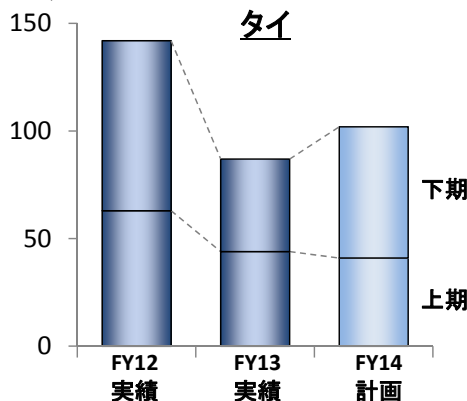
■タイ

- ◆ 需要の低迷が続くタイでは、14年度上期の販売台数は前年同期比減の計画
- ◆ 2014年秋に投入の新型『トライトン』により、下期で販売台数増の計画

■インドネシア・フィリピン

- ◆ 13年度のインドネシア・フィリピンは過去最高の販売台数を記録
- ◆ 14年度も自動車需要は比較的堅調と見ており、販売台数増の計画

小売台数(千台)



アセアン域内でのバランスの取れた成長戦略に向け、 フィリピンの生産体制を再構築

フィリピンにおける事業環境

- ◆ 2013年の当社シェアは約20%で第2位
- ◆ 今後、本格的なモータリゼーションの到来による販売台数増加を見込む

事業基盤の強化

- ◆ ミツビシ・モーターズ・フィリピンズ・コーポレーション (MMPC) が、
フォード・モーターの工場跡地を取得
- ◆ 現MMPC本社・工場を移転の上、年間10万台規模の生産を目指し、
2015年1月から生産開始

14

日本・欧州市場での取り組み

日本市場：eKシリーズや『アウトランダーPHEV』の拡販による黒字体質の定着

- ◆ eKシリーズの順調な販売
(13年度:55千台 ⇒ 14年度:78千台)
 - ◆ 水島製作所の稼働率改善
 - ◆ 昨年8月に生産再開した『アウトランダーPHEV』の拡販
- 14年度は通年で寄与

欧州市場：『アウトランダーPHEV』の拡販などにより、増益を目指す

- ◆ オランダに加え、欧州全域で積極的なプロモーション活動を展開
(ドイツ、英国、ノルウェー、スウェーデン、フランスなど)



15

14年度配当予想は13年度普通配当と同額の年間15円

■ 業績見通し

(単位: 億円)

	FY13 (' 13/4-' 14/3)	FY14 (' 14/4-' 15/3)
売上高	20,934	23,000
営業利益	1,234	1,350
当期利益	1,047	1,100
1株当たり純利益(円)	156.6	111.9
■ 配当予想		
第2四半期末	-	7.5円
期末	15.0円	7.5円
年間	15.0円	15.0円
特別配当	10.0円	-

16

まとめ

■ 2013年度実績

営業利益・経常利益・当期利益全ての利益項目で過去最高

- 販売台数(小売): 前年比 6%増加の1,047千台
- 販売台数(卸売): 前年比 12%増加の1,257千台
- 売上高 : 前年比 15%増収の 20,934億円
- 営業利益 : 前年比 83%増益の 1,234億円
(資材費等コスト低減や為替の好転が販売費の増加を上回り増益)
- 経常利益 : 前年比 38%増益の 1,295億円
- 当期利益 : 前年比 176%増益の 1,047億円

■ 2014年度見通し

増収・増益の計画

- 販売台数(小売): 前年比 13%増加の1,182千台
- 販売台数(卸売): 前年比 12%増加の1,402千台
- 売上高 : 前年比 10%増収の 23,000億円
- 営業利益 : 前年比 9%増益の 1,350億円
- 経常利益 : 前年比 7%増益の 1,380億円
- 当期利益 : 前年比 5%増益の 1,100億円

17

Appendix



18

2013年度 業績サマリー 【四半期推移】

(単位: 億円、千台)

	FY13 1Q ('13/4-6)	FY13 2Q ('13/7-9)	FY13 3Q ('13/10-12)	FY13 4Q ('14/1-3)	FY13 通期 ('13/4-'14/3)
売上高	4,094	5,196	5,897	5,747	20,934
営業利益	160	348	455	271	1,234
経常利益	223	387	554	131	1,295
当期利益	164	303	417	163	1,047
販売台数(小売)	249	250	277	271	1,047
販売台数(卸売)	250	318	347	342	1,257

売上レート(円)

米ドル	98	98	100	103	100
ユーロ	127	130	135	141	134
豪ドル	99	89	93	92	93
タイバーツ	3.31	3.15	3.17	3.15	3.19

19

2013年度 地域別業績【前年度対比】



(単位: 億円)

	FY12 実績	FY13 実績	増減	【参考】 FY13計画 2/5公表値
売上高	18,151	20,934	+ 2,783	21,100
- 日本	3,295	4,741	+ 1,446	4,700
- 北米	1,577	2,294	+ 717	2,300
- 欧州	4,007	4,843	+ 836	4,900
- アジア	5,017	4,157	- 860	4,400
- その他	4,255	4,899	+ 644	4,800
営業利益	674	1,234	+ 560	1,200
- 日本	- 276	9	+ 285	- 10
- 北米	- 200	- 38	+ 162	- 40
- 欧州	- 70	372	+ 442	370
- アジア	936	598	- 338	600
- その他	284	293	+ 9	280

20

2014年度 地域別業績見通し【前年度対比】



(単位: 億円)

	FY13 実績	FY14 見通し	増減
売上高	20,934	23,000	+2,066
- 日本	4,741	5,000	+259
- 北米	2,294	2,200	- 94
- 欧州	4,843	5,500	+657
- アジア	4,157	5,400	+1,243
- その他	4,899	4,900	+1
営業利益	1,234	1,350	+ 116
- 日本	9	30	+21
- 北米	- 38	0	+38
- 欧州	372	480	+108
- アジア	598	570	- 28
- その他	293	270	- 23

21

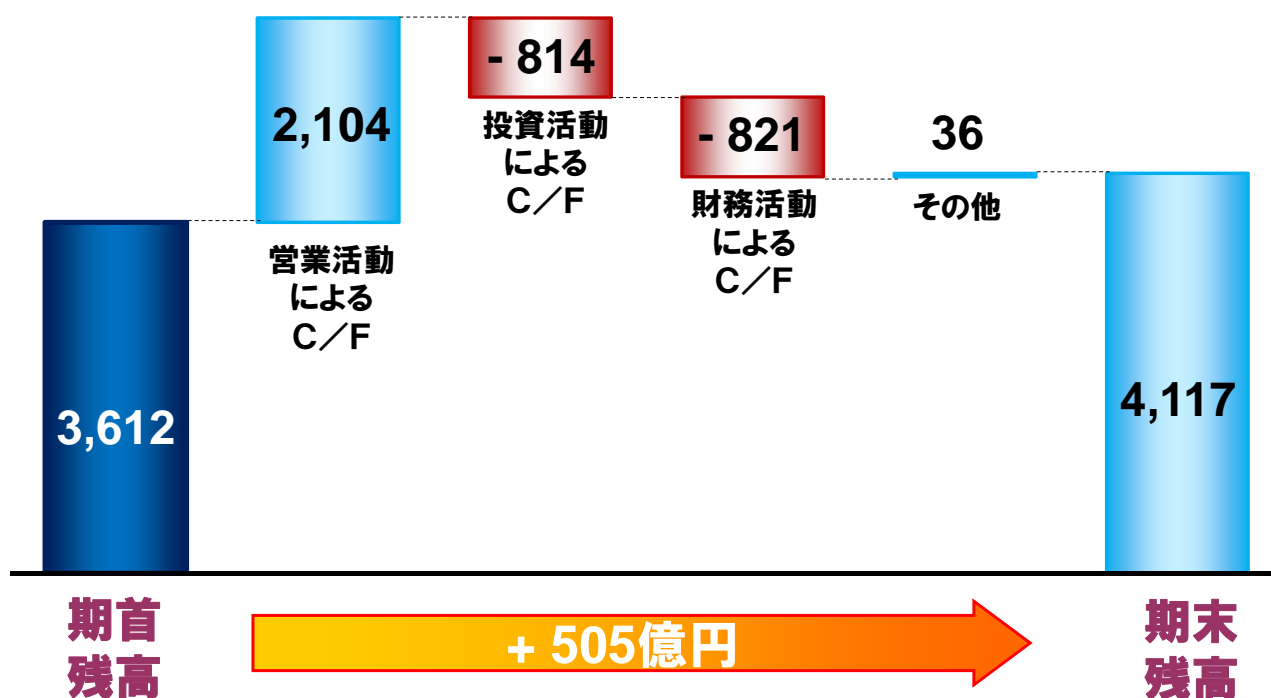
貸借対照表【前年度末対比】

(単位: 億円)

	FY12末 (' 13/ 3月末)	FY13 末 (' 14/3月末)	増 減
資 産 合 計	14,528	15,439	+ 911
うち 現金預金	4,095	4,501	+ 406
売上債権	1,496	1,735	+ 239
たな卸資産	2,023	2,075	+ 52
負 債 合 計	11,016	9,939	- 1,077
うち 仕入債務	3,138	3,557	+ 419
有利子負債	3,644	2,224	- 1,420
純資産合計	3,512	5,500	+ 1,988

キャッシュフロー

(単位: 億円)



(単位: 億円)

	FY12 ('12/4-'13/3) 実績	FY13 ('13/4-'14/3) 実績	FY14 ('14/4-'15/3) 見通し
設備投資 (前年比)	514 (-28%)	722 (+40%)	900 (+25%)
減価償却費 (前年比)	503 (-6%)	527 (+5%)	580 (+10%)
研究開発費 (前年比)	599 (+9%)	675 (+13%)	720 (+7%)

すべては、たのもしい走りのために。

@earth
TECHNOLOGY



本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

Drive@earth



MITSUBISHI MOTORS